

邑楽町教育委員会会議録	
開会年月日時刻	令和元年8月26日(月)午後2時30分
閉会年月日時刻	令和元年8月26日(月)午後4時52分
開会の場所	邑楽町役場2階204会議室
議案事項	議案第19号 平成30年度邑楽町教育委員会点検評価報告書について
その他	1) 令和元年度邑楽町教育費補正予算(案)について 2) 幼児教育・保育無償化について 3) 学校教育費の徴収方法について 4) 令和元年9月行事予定について 5) 次回教育委員会について 6) その他
出席者	教 育 長 藤江 利久 委 員 黒澤 幸男 委 員 岡田 真幸 委 員 谷津 洋子 委 員 中村 郷志
説明員	外部評価委員 福島 慶子 学校教育課長 中繁 正浩 生涯学習課長 半田 康幸 子ども支援課長 久保田 裕 教育委員会書記 高橋 克徳

会議録

議長（藤江）

ただ今より、8月定例教育委員会を開会いたします。
それでは今回の議事録署名人を決定いたします。
岡田委員、中村委員にお願いします。
続きまして、教育長事務報告をさせていただきます。

前回の教育委員会から今回の教育委員会まで、行事予定表を基に主なものを説明させていただきます。

7月23日は館林市の城沼市民プールを会場に邑楽郡小学校水泳教室記録会がありました。競技の最初に行われたメドレーリレーでは、男女とも長柄小学校が圧倒的にリードを広げる展開で優勝しました。どの種目にも強い選手がおり、多くの選手が県大会に出場しました。25日は給食センター運営委員会がありました。給食費の徴収について話し合われましたが、詳しいことにつきましては、議題の方でご報告いたします。26日は、子ども支援課関係の庁議がありました。30日は、10月31日に中野東小学校で行われる小学校理科教育研究会の関係校長役員があいさつに見えました。夜には、おうら祭り運営説明会が大会議室で行われました。8月1日は群馬県教育センター、東部教育事務所を会場に管理職試験が行われました。2日は、子ども議会がありました。中学生16名が町行政について中学生目線で質問しました。執行部の丁寧な説明に理解も深まったようです。4日は町内対抗野球大会開会式が、松本公園で行われました。また、第44回町長杯争奪ソフトテニス大会の開会式も町民テニスコートであり、半田課長に代理で出席してもらいました。5日は課長会議、校長会議がありました。6日は町民体育祭事前打ち合わせ会議があり、昨年度と大きく変わったところを中心に話し合われました。町歌に合わせたさわやか健康体操をラジオ体操の後に説明付きで実施するということですので、教育委員さんにも参加していただきたいと思います。7日は、東毛人権教育指導者研修会が邑の森ホールでありました。脳性麻痺の方が家族や周りの方々の協力を得ながらサクソ奏者になるまでのお話や人間の脳は一生のうち10%しか使っていない、ダメージがあっても毎日刺激を与えれば機能が働くようになるというお話でした。14日は町内対抗野球大会の決勝がありました。3連覇のかかる前原チームが劇的な満塁サヨナラ逆転ホームランで優勝しました。本当にびっくりしました。18日はおうら祭りでした。気温も34度くらいまで上がりましたが、スポーツ少年団のパレードも予定通り行い、祭り自体も盛大に実施できたと主催者

会議録

は評価しています。19日・20日は、おうらイングリッシュキャンプがありました。天気が心配でしたが予定していた内容をすべて行うことができ、9名の参加者は充実した2日間を過ごしたようです。21日は邑楽町戦没者追悼式が邑の森ホールで初めて行われました。各学校からは児童生徒が4名ずつ献花し、邑楽南中学校生徒の戦争体験の継承の役目を果たす誓いの言葉が大変素晴らしかったです。25日は邑の森ホールでのフラ・フェスがあり、朝10時から午後3時過ぎまで30団体が出演しました。近隣市町だけでなく前橋や東京からの団体も出場したそうです。町長も私も雰囲気を楽しみたいと思い、アロハシャツを着て挨拶をしました。教育長事務報告は以上になります。

議長（藤江）

何かご質問・ご意見等ありますか。ないようですので、次に議事に入ります。最初にお諮りしますが、その他の1)令和元年度邑楽町教育費補正予算（案）について、その他の2) 幼児教育・保育無償化については議会議決案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔異議なし〕

議長（藤江）

異議なしと認めます。その他の1)令和元年度邑楽町教育費補正予算（案）について、その他の2) 幼児教育・保育無償化については非公開にし、公開案件審議終了後に協議します。
それでは、議案第19号平成30年度邑楽町教育委員会点検評価報告書についてですが、福島外部評価委員さんに出席していただきますので、少々お待ちください。

（福島外部評価委員入室、着席）

議長（藤江）

福島外部評価委員さんにおかれましては、お忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます。本日はよろしくお願いたします。学校教育課長より説明をお願いし、そのあと、福島様からご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。それでは、中繁学校教育課長説明をお願いいたします。

会議録

学校教育課
長（中繁）

教育委員会の点検評価報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき作成し、議会に提出するとともに公表するものです。平成 30 年度の教育委員会活動を振り返るとともに、本町教育委員会の基本方針である「教育行政方針」について、教育委員会が自ら事務の進捗状況について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を反映させて作成いたしました。点検評価の内容につきましては、教育委員の皆様には事前にご確認いただいておりますので、外部評価委員の福島様からご意見をお伺いし、ご承認いただければ議会に提出をさせていただきますと思います。

議長（藤江）

それでは、福島外部評価委員さんからご意見をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

外部評価委員（福島）

学識経験者からの意見ということで、点検評価報告書に基づきお話をさせていただきます。

まず一つ目ですが、「おうら生き生きプラン」を実現するためには、校長がリーダーシップを発揮し、かつ人間力を備える必要があります。リーダーシップを発揮するためには、「こういう学校をつくりたい」、「こういう子どもたちを育てたい」という明確な目標をもち、それを具現化するために、誰にでも分かる学校経営方針を提示することが大事です。簡単に言えば、キャッチコピーを示すことです。例えば、藤江教育長からは「凡事徹底」をよく耳にしました。小さいことや細かなことでも、徹底してやるのが大きな目標を達成することに繋がり、人間づくりになるということをお話されておりました。私は校長時代に「あいさつ・掃除・お手伝い」の三つを言い続け、いろいろなところで関わらせていました。そのように分かりやすく学校経営方針を提示することが大切だと思います。次に、管理職としての教頭を育ててほしいと思います。校長の意を受けて、校長の学校経営方針を具現化するために、教頭は学校運営を行います。職員室の担任であり学校の要である教頭を、ぜひ育ててほしいと思います。そして、校長は人間力を備えることが大事だと思います。私は人間力というのは「聴く力」、「理解する力」、「伝える力」だと考えています。例えば、保護者や職員が相談に来たときに、まず、しっかり聴く、深く聴くことです。相手の話を落ち着いて受け止めることです。

会議録

次に、相手の言いたいことを理解することが必要です。そして、自分の言葉でわかりやすく相手に適切な助言をすることが大事です。「人間力」は「包容力」とも言えます。これは校長の資質として大事なことだと思います。

二つ目ですが、子どもたちの豊かな心を育むためには、道徳教育の充実や人権教育の推進が必要だと思います。道徳教育に関しては、邑楽町は町ぐるみで取り組んでおり、指導訪問の一般授業で、ほとんど全員が道徳の授業に取り組んでいる学校もありました。研究所でも他の町の手本となるような取り組みを行っており、非常にすばらしいことだと思います。人権教育に目を向けますと、人権教育の中で大事なことは、小さい頃から人権感覚を磨いて身につけさせることだと思います。人権教育の基本は、違いを認めることです。我々は顔かたちが違うし性格も違います。お年寄りから子どもまでいろんな人がいます。みんなそれぞれ良いところがあります。違いを認めることがとても大事だと思います。詩人の金子みすゞさんの詩に「私と小鳥とすずと」があります。この詩の中で「みんなちがって、みんないい」という言葉があり、小学校の国語の教科書に載っていました。国語教育においても人権に視点をあてた教材がありますので、全教育活動を通して指導していただければと思います。

三つ目は、夢をもち、それに向かってたくましく生きる児童生徒に育てる話をしたいと思います。池間哲郎さんの「懸命に生きる子どもたち」という本があります。以前、現職の時にこの方をお呼びし、講演していただいたことがありました。その時の講演内容は、フィリピンのマニラにスモーカー・マウンテンというゴミ山で、お金になりそうなものを拾って暮らしている10歳か11歳くらいの少女のお話でした。ブルドーザーがゴーッと入って来るような死と隣り合わせの中で、母親が病気のために弟と一緒に拾ったゴミを売って毎日の生活費にしていたそうです。池間さんがこの少女に「あなたの夢は何ですか？」と聞いたとき、「私の夢は大人になることです」と答えたそうです。池間さんはとてもびっくりしたそうですが、私も大変驚きました。今の日本では、大人になることや夢をもてることは、当たり前のように感じます。世界を見てみると、大変な状況の中で一生懸命頑張っている子どもたちがいるのです。「みんな夢をもとうね」、「みんなは夢を叶えることができるんだからね」と私

会議録

はよく子どもたちに話しました。夢をもち、それに向かってたくましく生きる子どもたちに、ぜひ育ててほしいと思います。

池間さんはボランティアについても三つ大事なことがあると言っていました。一つ目は「貧しさのために、命が失われてしまうような状況にいる子どもたちがいることを知ってください」、二つ目は「皆さんの優しい心を少しだけ分けてください」、三つ目は「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命生きてください」ということです。私は三つ目が一番心に残り、東日本大震災の時にも同じことを言いました。

学校・家庭・地域の連携、融合、連帯についてですが、まず管理職自ら地域に出て、児童生徒の様子や地域を知り、地域を好きになることが大事だと思います。昔、校内暴力など学校が荒れている状況の時に「稚内発 学び座 ソーランの歌が聞こえる」という映画を見ました。当時、校内暴力等で荒れていた中学校で、生徒たちにソーラン節に取り組みせ、学校を立ち直らせたという映画です。この映画の中で校長が職員に、「ぜひ地域に出て、地域を見て、地域を知ってください。そして地域を好きになってください。」と言う場面があり、とても心に残りました。

さて、この点検評価においては、特に課題を中心に見させていただきました。課題に対し、その解決のために教育委員会が指導していくわけですが、前年度と同じ課題が多くありました。課題解決後は、成果と新たな課題があり、年々少しずつ変化していかないと進歩は見られないと思います。今後は、課題の絞り込みや精選化するなど工夫が必要だと思います。

次に、町の未来を創造する、心豊かな生涯学習社会づくりについてです。子どもたちにとって邑楽町は生涯の心のふるさとです。東京など町外に出ても、また邑楽町に帰って恩返しをしたいということを耳にしました。しかし、それには邑楽町で働いて生活していくための受け入れ体制や生活の基盤が必要だと思います。そのためにも邑楽町がいろんなことで発展してほしいと思います。「町づくりは人づくり」です。これからの邑楽町を支え、郷土を誇りに思える子どもたちを育てるためにも、学校教育・生涯学習が一体となり、連携し合いながら取り組んでいくことが必要です。さらなる連携を期待しています。

最後に、中央公民館は大変素晴らしく、いつも活気があり、作られてよかったなという思いでいっぱいです。今後のますますの発展を祈念しています。

会議録

議長（藤江）	ありがとうございました。何かご質問・ご意見等ありますでしょうか。
生涯学習課長（半田） 教育委員（岡田）	先ほどのお話で課題が前年度と同じというご指摘はこたえました。 大きな目標を掲げるとあまり達成できませんでしたとなってしまいます。目標の設定は難しいと思います。
議長（藤江）	ほかにありますか。ないようですので、それでは、議案第 19 号平成 30 年度 邑楽町教育委員会点検評価報告書について、ご承認いただけますでしょうか。 (賛同の声あり)
議長（藤江）	議案第 19 号平成 30 年度 邑楽町教育委員会点検評価報告書について、提案どおりに決定いたします。ここで、福島外部評価委員さんにはご退席いただきます。本日は、お忙しいなかありがとうございました。 (福島外部評価委員退室)
議長（藤江）	次にその他の 3) 学校給食費の徴収方法について、中繁学校教育課長説明をお願いします。
学校教育課長（中繁）	学校給食費の徴収方法については、6月の教育委員会において、今後どうしていくことがよいのか、学校給食センター運営委員会に意見を求めることになった訳でございます。そこで、7月25日（木）に開催された学校給食センター運営委員会において、出席委員から今後の徴収方法について意見を求めました。出された意見ですが、保護者も学校教職員も口座振替にする方が良いという発言が多くありました。しかし、口座振替にする方が良いという学校教職員からは、「口座振替に変えた後で、督促や滞納整理を学校教職員がすることは避けたい」という意見や「口座振替に変えた場合に、督促や滞納整理を誰が行うのか明らかにならなければ、どちらが良いか決められない」という意見がありました。個別の意見を聞いた後に、現金集金のままが良いか、口座振替にする方が良いか、決を採ったところ、現金派が 12 名、口座振替が 10 名という結果でした。

会議録

	以上報告いたします。
議長（藤江）	何かご質問・ご意見等ありますか。
教育委員（黒澤）	現金のままの場合でも未納はあるわけですよね。その督促は誰が行うのですか。
学校教育課長（中繁）	最初は学校の先生が行います。
議長（藤江）	私も校長のときに自宅まで行ったことがありました。人数が少ない場合はできますが、これが10人も15人もいる場合は難しいと思います。
教育委員（黒澤）	役場が徴収するのは税金と年金だけですか。
学校教育課長（中繁）	保険料もあります。
教育委員（黒澤）	健康保険料の督促は担当課で行うのですか。
生涯学習課長（半田）	国保は国保税になっていますので、徴収は税務課で行っています。
議長（藤江）	よろしいでしょうか。それでは学校給食費の徴収につきましては、今のところ来年も現金で集める方向です。次にその他の4) 令和元年9月行事予定について、中繁学校教育課長・半田生涯学習課長説明をお願いします。
学校教育課長（中繁）	学校教育課の9月の主な予定行事を読みあげる。
生涯学習課長（半田）	生涯学習課の9月の主な予定行事を読みあげる。
議長（藤江）	何かご質問・ご意見等ありますか。ないようですので、その他の5) 次回の教育委員会についてですが、9月27日（金）午前8時45分からでお願いしたいのですが、どうでしょうか。
	（賛同の声あり）

会議録

議長（藤江） それでは次回の教育委員会は9月27日（金）午前8時45分から行うことに決定しました。以上で公開案件は終わりにします。
次に非公開案件に入ります。その他の1) 令和元年度邑楽町教育費補正予算についてを議題とします。

以下非公開

議長（藤江） 次にその他の2) 幼児教育・保育無償化についてを議題とします。

以下非公開

以上で8月の教育委員会を閉会します。